

## 「ISO14001内部環境監査員養成研修」 修了証書授与式を挙行

### 【概要】

11月11日（火）、「ISO14001内部環境監査員養成研修」の修了証書授与式を開催しました。式には吉田学長、杉山副学長（環境対策室長）、統括環境管理責任者の大谷教授（工学部）らが出席し、岐阜大学と名古屋大学の学生21名に修了証書が授与されました。

岐阜大学は平成15年に地域科学部で環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を認証取得し、その後、附属病院を除く全学で認証を取得しています。加えて、平成23年からは教職員と学生による内部環境監査を毎年実施し、環境パフォーマンスの向上に取り組んできました。

内部環境監査は、本学の環境マネジメントシステムがISO14001の規格に沿って運用されているかを学内の監査員が確認するものです。連携開設科目※「マネジメント論（マネジメントシステムと監査）」を履修している学生たちは、教職員とともに同規格の概要や監査の実施手順について学内外の講師による研修を受け、実際に内部環境監査に監査員として参加し、学生ならではの視点で監査を行いました。

授与式では、吉田学長から本研修を修了した学生に修了証書を手渡しました。吉田学長は「学生たちは環境への理解を深め、高い志をもって学びを重ねてきた。今回得られた知識と経験を、ぜひ今後の活動に生かしていただきたい」と激励の言葉をおくりました。

その後の意見交換では、学生から「普段接する機会のない学部や部署を監査し、大学や学部の取り組みを知ることがとても有意義だった」「大学の環境への取り組みを知り、自分自身の環境への向き合い方を学ぶ機会となった」といった声も聞かれ、積極的な意見交換が行われました。

岐阜大学は今後も環境教育と実践の場を提供し、学生が地域や社会に貢献できる人材へと成長できるよう支援を続けていきます。

### ※連携開設科目：

他大学と本学が連携して開設する科目。

名古屋大学の学生は、岐阜大学で開講される連携開設科目を受講することができる。



集合写真（名古屋大学の学生はオンライン参加）